



日本大学三島高等学校 同窓会会報

Vol. 43

2014.3.4



‘今、思うこと’

会長 川口 功一

(第3期生 小田原市在住)

私が同窓会会長を拝命し、間もなく1期2年の決算期を迎えようとしております。会報42号においても述べましたが、総会時期の変更や現在の同窓会運営に見合った50数年ぶりの前規約の全面規約改正、等々の課題。これらは同窓生皆様のご理解のもと、平成25年度総会において承諾され、現在、順調に推移しています。しかし、運用をしていくうちにまだまだ不備な面が表れてきます。気がついたところから、順次、改めていくように努めてまいります。

ところで、平成26(2014)年は十二支・午の歳《天馬、空を舞う》という飛躍の年とも言われます。その反面、経済・株式の面では「辰巳天井」(たつみ、てんじょう)、「午尻下がり」(うま、しりさがり)と言われています。実際に12年前、24年前を見るに数値はまさにその通りになっていました。今回の消費税率の引き上げ、その他の税率の上昇。その理由は理解しても、これらは国民の将来の生活安定にどのように反映されるのでしょうか。

一例ですが、軽自動車税が上がる過疎地域では一家で一人一台の軽自動車(農耕用も含む)が必要で他の交通の手段がない地域では打撃になると報道されています。一方、東京都内に住む友人はマイカーを持っていません。理由を聞けば「地下鉄の駅は家の前だし必要なときにはレンタカーだよ。」皆さんはどう考えますか。

また昨年、自動車税を納める時に納付書に書かれている内容を見直し、長い間知らずに見過ごしてきたことを発見しました。「10数年を経過した車は税金が高くなる。」と記されているのです。高価な買い物を大事に長く使用する、価値のあることなどと教育されてきました。ハイブリッド車の軽減税率には理解はいたしますが、その反対側で古いものに増税するのは如何なものでしょうか。

* ドイツでは30年以上経て、オリジナルの状態を保っていることが検査で証明されれば、その車は工業製品文化遺産ということとなり、ナンバーの末尾に「H」、すなわちヒストリック・ナンバーが発行されます。

私事ですが、昨年は客船でクルーズをしてきました。そのシステムはイミグレーションも飛行機で旅をするのとは大いに違います、パスポートも船内に船長の責任において預け、船内の買い物もルームキーも船の乗り降り出入国もデータを入れたカードのみで行います。当然、セキュリティーチェックはありますが、帰国の税関検査も自室で待っていれば税関職員が回ってきます。70年生きててもまだまだ知らない世界がたくさんあります。また私は60歳を過ぎてから娘と一緒にスキューバダイビングに挑戦しライセンス(Cカード)を獲得しました。そのおかげで石垣の海ではマンタを見ることもできました。

企業の第一線は次世代に譲りましたが、創造性と好奇心を持つべきやることは山ほどあります、「暇」という言葉は無用で時間が足りないくらいです。部屋には製作途中のラジコンヘリや模型が車庫にはレストア中のバイクが邪魔になっています。少しずつ増える孫にそれを託すのも grandpa の仕事かもしれません。2月のロータリークラブのイベントに向けて今宵も鉄道ジオラマ造りで午前様です。

最後になりますが、箱根駅伝で日本大学が久しぶりにシードに入ることができました。東海道筋(東京ー箱根間)、私の住む小田原でも、年初めの大イベントです。今年は、初めて三島高校の御父兄がハッピーポンポンを着て、幟を持って一緒に応援をして戴きました。

大学の校友会との交流もますます増えてゆけば良いと感じた新春でした。

2014年1月吉日





さらなる発展を目指して

日本大学三島高等学校・中学校校長 津幡 晴樹

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。日頃から母校の発展のためにご指導や厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

4月6日雨の中、新たに高校生680名、中学生55名の新入生を迎える、午前中に高校、午後は中学校の入学式を挙行いたしました。新規採用教員5名を含めた専任教員は70名、非常勤講師は90名(ネイティブ含む)、全校生徒2,146名とともに平成25年度はスタートしました。

ところで、今年度も学校祭である桜陵祭をはじめ様々な行事が実施されました。多くの行事を通じ、生徒の成長を見ることができます。中でも高校生活において修学旅行は重要な行事の一つですが、今年度の高校2年生は、従来の九州に加え沖縄を訪ねる5泊6日の旅となりました。さらに来年度からは修学旅行先を沖縄と定め、4泊5日の旅となります。目的の一つである平和教育の実践をはじめ、見るだけではない様々な体験プログラムを用意していきます。

変化といいますと、平成25年度入学生より、付属高校生対象の日本大学への推薦入試制度が大きく変わります。これは従来の高校3年生の11月に実施されてきました「統一テスト」がなくなり、変わって毎年の4月と高校3年次の9月に実施される「基礎学力到達度テスト」となります。中でも高校2年生の4月、高校3年生の4月及び9月に実施した合計3回のテストの結果は、日本大学への進学に大きく関わります。このテストの導入により、基礎学力到達度テストの結果を利用する「基礎学力選抜」方式と「付属特別選抜」方式を主とした付属高校生を対象とした推

薦入試となります。この制度の導入の目的は、各高校においてしっかりした学力を身につけ、より多くの生徒を日本大学で受け入れることにあります。1回の勝負で決める方式から積み重ねを重視する方式へ。さらに平成25年度の高校3年生から全付属高校共通のテキストを使った卒業前教育を実施し、高校から大学への接続がスムーズに行くように取り組みを始めております。

平成23年度に完成しました校舎(A・B・C棟)と部室棟により、本校の施設は充実しましたが、今後のさらなる発展をめざし、グラウンドの人工芝化と総合体育館の建設を行います。グラウンドの人工芝化は平成26年度中に、体育館につきましては、平成27年度末までに古くなった施設にかわり、1階に800席の食堂と2階にはバスケットボールコート四面を備えた総合体育館を建設します。さらに充実した教育環境の整備をめざします。

さて、第54期卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年前の平成23年3月11日に東日本大震災が発生した年、4月に本校に入学しました。我が国の観測史上最大規模の地震でマグニチュード9.0、世界的にも1900年以降4番目の規模の地震でした。復興庁によると、平成25年12月現在で行方不明者が2,600余名、避難者は27万4千人います。一日も早い復興を祈っています。「絆」という言葉が多く聞かれたのもこの年でした。皆さんはこの3年間に、心身ともに成長しました。勉強や部活動で頑張り、また多くの友人と出会えたことが何事にも代え難いものです。同窓会の会員は52,000名を超え、県内をはじめ全国各地で活躍しています。今後の皆さんの活躍を期待しています。

高校

修学旅行～沖縄・九州へ～



修学旅行

平成25年11月11日(月)～17日(日)にかけ、修学旅行が行われました。2集団に分かれての5泊6日の旅行。昨年度までの南北九州縦断に加え、沖縄へと訪れました。平和教育を目的の一つに置き、長崎・知覧・沖縄の各地で、戦争に関する体験談を聞いたり、目で見て真剣に学んだりする生徒の姿が印象的でした。

中学

職場体験(1・2年)



中学職業体験講演

平成26年2月6日(木)・7日(金)の2日間、職場体験を実施しました。近隣地域の各企業や学校など、中学1・2年生が訪れ、実際に働くことを体験しながら、労働の意義を学びます。職場体験実施に先立ち、本校同窓生でもあります大和印刷(株)社長の植松敬之様より講演をいただき、心構えなどを学びました。職場体験の実施にあたり、多くの同窓生のご協力をえております。今後もご協力のほど、よろしくお願いします。



新入会員の言葉

母校を支える

生徒会長 大木 祥光

私たちは3年前、桜の舞う中を期待と不安を抱きながら高校生となりました。入学してから多くの仲間と出会い、喜びや悲しみを共にし、数多くの経験をしました。そして、私たちは、同窓会の皆様のご支援をいただきながら「自由と規律」の校訓のもと、学業や部活動をはじめ、様々な活動に精一杯取り組んできました。この学校生活で得た一つひとつの経験が、私たちの大きな財産になり、これから社会に出ていく私たちにとって大きな支えとなってくれることでしょう。

これから私たちは、日本大学三島高等学校を卒業し、同窓会の会員となります。同窓会を作り上げた多くの先輩方と共に、受け継がれてきた母校の伝統を私たちも受け継ぐことになります。また、私たちが先輩方を見て、学び、成長してきたように、今度は後輩のことを導いていかなければなりません。そのためにも厳しい社会の中で、より一層学び、成長し、新たな環境で活躍できるよう努めています。

最後になりますが、まだまだ未熟な私たちです。これからも諸先輩方のご支援をいただきつつ、私たちも同窓会の活動を通じて、母校、日本大学三島高等学校の発展に寄与できるよう努力することを誓います。



桜陵祭であいさつをする
大木生徒会長



鎌倉遠足



新入会員を迎える

「絆」

第42期生 滝口 鮎子

12年前の3月1日、私は日本大学三島高等学校を卒業しました。この文章を書くにあたり、卒業式当日のことを思い出してみました。思い出したのは、先生方に卒業アルバムの裏にコメントを頂きながら「卒業したくない！」と大号泣している自分の姿です。高校受験で公立高校を落ちて不本意に進学し、部活動で歯がゆい思いをしたこともあったはずなのに、卒業式当日の私は日大三島で過ごした3年間をとても充実したものだったと感じていました。クラスメイトや多くの素晴らしい先生方のおかげで、日大三島は私にとって居心地のよい、とても温かい場所になっていたのです。

高校に入学したときから教員になりたいという思いはありました。その思いは卒業時に“母校の教員になる”という明確な目標に変わりました。そして、8年前の4月、化学の教員となって帰ってくることができ、今年初めて卒業生を送り出すことができました。12年前も8年前も今も、日大三島の温かさは何も変わっておらず、今の私が教員を続けていられるのも、たくさんの生徒や先生方からの支えがあってこそだと心から感謝しています。

卒業生のみなさんも、日大三島での3年間、友人や先生方とたくさんの思い出を共有し、固い絆で結ばれたと思います。その絆をずっと大切にしてください。今後、何か壁にぶつかったときは、母校を訪れたり同窓会を開いたりと、日大三島という温かい場所へ一度戻ってみることです。きっと、みなさんをよい方向へと導いてくれることと思います。私も3年間一緒に歩んできた教員の一人として、また同窓生の一員として、これからもみなさんと固い絆で結ばれていたいと思っています。

第54期生 幹事一覧

代表幹事
大木 祥光 (17組)

— クラス幹事 —

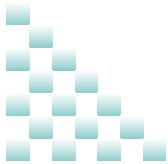
- | | |
|-------------|-------------|
| 1組 ■ 抱井 駿 | 11組 ■ 吉田 裕亮 |
| 2組 ■ 池田 和司 | 12組 ■ 青木 美葉 |
| 3組 ■ 勝海 亮 | 13組 ■ 宇田川真唯 |
| 4組 ■ 岩城 黎司 | 14組 ■ 岸野 友美 |
| 5組 ■ 内尾 日南 | 15組 ■ 飯塚 岳徳 |
| 6組 ■ 高橋 愛佳 | 16組 ■ 澤田 航輝 |
| 7組 ■ 佐野愛維奈 | 17組 ■ 尾形 龍哉 |
| 8組 ■ 内野 太志 | 18組 ■ 恒松 弘基 |
| 9組 ■ 石井 春華 | 19組 ■ 笛田 昂介 |
| 10組 ■ 渡邊 琢己 | |

同窓会総会

平成25年6月14日(金)於 三島プラザホテル

同窓会総会は、昨年まで10月に実施していましたが、今年度より実施時期を6月に変更。三島プラザホテルにて開催しました。総会は川口会長のあいさつに始まり、議事では平成24年度の活動報告・決算、平成25年度事業計画・予算・規約改正に関する案件などすべて承認されました。ご来賓として母校校長津幡晴樹先生、日本大学国際関係学部長佐藤三武朗先生をお招きし、ごあいさつをいただきました。

総会後の懇親会では、会長のあいさつや還暦を迎えた方々(12期生)への記念品贈呈などがあり、和やかに進みました。毎年恒例となっている空くじのなしのくじ引き大会では、田方支部が企画、大いに盛り上りました。



新任教員紹介



還暦祝い



入会式講演



同窓会入会式・記念講演

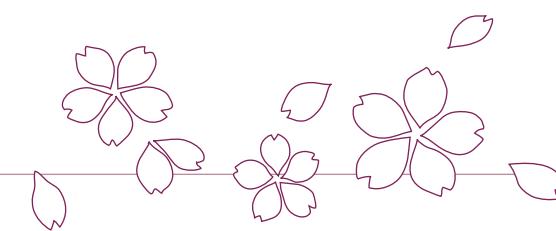
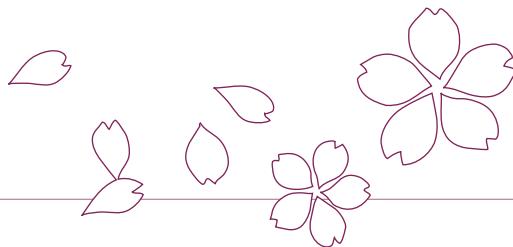
平成26年2月15日(土)

前日から大雪の影響も残る中、同窓会入会式を母校8号館講堂にて行い、第54期生648名を迎えました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また新入会員から誓いのあいさつをいただくとともに、同窓会では表彰規定により、奨学金を恒松弘基君、峰田悠衣さんの2名に渡しました。

入会式後の記念講演は、講師に東京工芸大学芸術学部教授の大島武先生をお迎えし、「コミュニケーション再考～自分しさを表現しよう～」というテーマで、お話をいただきました。生徒とコミュニケーションを取りながら、大学の授業の一端を垣間見ることができるたいへん興味深い講演でした。



入会式記念贈呈



富士支部

第23期生 望月 靖夫さん

地域に根づいて活躍する同窓生を紹介します。第1回の小田原支部、(株)美濃屋吉兵衛商店代表取締役社長の鈴木吉兵衛(12期)さんに続く第2回。静岡市由比で養蜂家として活躍されている望月靖夫さんです。富士支部の活動に参加。日置信弘(3期)同窓会副会長の協力をえて、取材に応じていただきました。

母校日大三島高校卒業後、日本大学農獣医学部(現生物資源科学部)に進学・卒業。食品メーカーに勤務された後、実家の事業である養蜂業(はちみつ販売・受粉交配用蜂の販売)を受け継ぎ、現在に至ります。地元の由比・蒲原に3か所の養蜂場を持っています。養蜂家は春から初冬にかけて、花を求めて、故郷の山野のみならず、旅をしているとのこと。望月さんも、時に家から片道2時間。主に信州(野辺山・小諸・小海など)を中心に専用車で往復する日々。自然とともに生きるたいへんな仕事です。

「はちみつは食の安全・自然食品が求められる昨今において、昔ながらの食品。時の流れと共に失われていく自然の姿を目の当たりにしながら、いつまでも蜜蜂たちが安心して、花を求めて飛び交える環境が残ってくれることを祈りながら、そして自然の恵みに感謝しつつ、蜜蜂の世話に追われています。」と。

昨年は、母校学校祭にも参加。養蜂業を営む望月さんにとって5月中旬は、最も忙しい時期です。少しでも「母校のために。」と



望月さんと養蜂

の思いから参加。レンゲをはじめとした貴重なはちみつを提供していただきました。

「インターネットでの販売はできません。理由は、たいへん多くの人が求めるが、対応できないから。地元(由比)で営むお店でのみ販売です。」レンゲ・みかん・小梨・アカシア・百花といった種類のはちみつがあり、それぞれに特色があります。

今回の取材では、改めて様々な分野で活躍している卒業生がいると実感するとともに、再び母校に目を向けていただける人がいることに感謝するとともに、同窓生のつながりの大切さを感じました。(T)



採蜜



養蜂箱



花を追いかける



販売所

トピックス

第41期生の同窓会の実施

第41期生の同窓会が、2014年1月4日(土)に母校8号館1階で実施されました。恩師を交えたひと時、思い出話を花を咲かせました。

なお、同窓会の実施を考えている各期代表の方は、個人情報の問題もあります。事務局までご相談下さい。

国体テニス競技で見事、全国制覇!!

第68回国民体育大会テニス競技(東京・2013年10月)成年女子の部において、静岡県は優勝しました。県代表として出場したのは、本校卒業生の伊藤絵美子さん・木代縁さん(ともに第48期生)です。おめでとうございます。

同窓会役員一覧

役職	氏名	支部長	氏名
会長	川口 功一(3期)	三島支部長	田中 健一(13期)
副会長	手島 正武(3期)	沼津支部長	土屋 照夫(4期)
//	臼置 信弘(3期)	田方支部長	宮澤 正(4期)
//	宮澤 正(4期)	裾野支部長	西島 明彦(7期)
//	石橋 倍子(4期)	御殿場支部長	芹澤 修治(7期)
事務局長	村上 直人(3期)	富士支部長	臼置 信弘(3期)
副事務局長	杉本 雅俊(3期)	富士宮支部長	深澤 好幸(7期)
//	松村 健一(6期)	静岡支部長	小澤 薫(9期)
//	植松 敬之(14期)	熱海支部長	谷口 俊司(2期)
会計監査	内田 敏明(3期)	小田原支部長	瀬戸 啓司(9期)
//	鈴木 真雄(14期)	女子部会長	石橋 倍子(4期)

(平成25年度)

高等学校教頭に就任 和之先生が就任



平成25年4月1日付をもって、和之先生が高等学校教頭に就任されました。先生は長年、本校教諭として勤められ、教科は数学を担当されてきました。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。

短
信
ご定年を迎える
退職される先生方
✿✿✿

平成25年度、4名の先生方がご定年を迎えられ、退職されました。

	戎谷 一仁 先生 (数学)	
	土田 信明 先生 (数学)	
	中嶋 一敏 先生 (英語)	
	佐藤 博久 先生 (数学)	

先生方のこれからご活躍を同窓生一同、期待いたします。

平成24年度

事業報告 (平成24年4月～平成25年3月)

1. 総会 平成24年10月19日(金)三島プラザホテル

- (1)開会の辞
- (2)会長挨拶
- (3)日本大学国際関係学部学部長挨拶
日本大学三島高等学校・中学校校長挨拶
- (4)議事
 - ①平成23年度事業報告 ②平成23年度決算報告
 - ③平成24年度役員の承認 ④平成24年度事業計画
 - ⑤平成24年度予算
- (5)表彰 高桑 健 氏 (ロンドンオリンピック出場)
- (6)閉会の辞
 - ・懇親会 ①開会の辞 ②挨拶 ③乾杯 ④懇親会
 - ⑤校歌齊唱 ⑥閉会の辞

2. 役員会など

- (1)平成24年 4月11日(水) 母校同窓会室 同窓会常任幹事会
- (2)平成24年 4月25日(水) 母校会議室 同窓会役員会
- (3)平成24年 9月12日(水) 母校会議室 同窓会役員会
- (4)平成24年10月10日(水) 母校会議室 同窓会役員会
- (5)平成24年12月 5日(水) 母校会議室 同窓会役員会
- (6)平成25年 1月26日(土) 国際関係学部北口校舎
同窓会賀詞交歓会・役員会
- (7)平成25年3月25日(月) 母校会議室 同窓会役員会

3. 三役会

- (1)平成24年 7月 6日(金) 国際関係学部北口校舎
- (2)平成24年 8月31日(金) 国際関係学部北口校舎
- (3)平成24年10月 5日(金) 国際関係学部北口校舎
- (4)平成24年11月 9日(金) 国際関係学部北口校舎
- (5)平成25年 3月18日(月) 国際関係学部北口校舎

4. 規約改正委員会

- (1)平成24年12月19日(水) 母校同窓会室
- (2)平成25年 2月 2日(土) 母校同窓会室
- (3)平成25年 3月23日(土) 母校同窓会室

5. 事業(開催順)

- (1)平成25年 2月16日(土) 母校8号館3階

第54期生 同窓会 入会金納入のお願い

日本大学三島高等学校同窓会では、第54期生の入会にあたり、同窓会規約にもとづいて、終身会費1万円を納入することをお願いしています。高校卒業時に、学校に納めた費用のうちより納入していただいているのでありますので、ご理解、ご了承いただきますようお願いします。

①第53期生同窓会入会式

奨学金 加藤 大輝(3-15)、堀田 盛弘(3-16)
奨励金 該当なし

②記念講演会 講師:山本 晋也 (日本大学藝術学部卒業、映画監督・タレントなど)
タイトル 「山本晋也のマジメな社会学」
(2)平成25年 3月 1日(金) 同窓会会報 発行 第42号

6. 支部総会等(開催順)

- (1)女子部
総会 平成24年 5月20日(日) 母校桜陵祭
- (2)三島支部
総会 平成24年 6月 1日(金) 国際関係学部北口校舎
- (3)富士支部
総会 平成24年 6月 2日(土) ペアステージ・ノイ
- (4)静岡支部
総会 平成24年 6月16日(土) シティオ静岡
- (5)沼津支部
総会 平成24年 6月22日(金) 沼津リバーサイドホテル
- (6)富士宮支部
総会 平成24年 7月19日(木) わびすけ
- (7)田方支部
総会 平成24年 9月 8日(土) 伊豆洋らんパーク洋蘭飯店
- (8)御殿場支部
総会 平成24年 9月21日(金) ホテル御殿場館21
- (9)裾野支部
総会 平成24年 9月28日(金) 勢力(せいりき)
- (10)小田原支部
総会 平成25年 3月 2日(土) 小田原市民会館

7. その他

- (1)平成24年 9月22日(土) 伊豆大仁カントリークラブ
田方支部主催ゴルフコンペ
- (2)平成24年11月 4日(日) 朝霧カントリークラブ
沼津支部主催ゴルフコンペ(静岡・富士・沼津支部合同)
- (3)平成25年 3月 3日(日) 伊豆大仁カントリークラブ
田方支部主催ゴルフコンペ

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第43号

平成26年3月4日発行
発行者:川口 功一
編集:事務局

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号
TEL 055 (988) 3500 (高校事務課)
FAX 055 (988) 3517